

何故「サーカスの象」は逃げないのでしょうか？

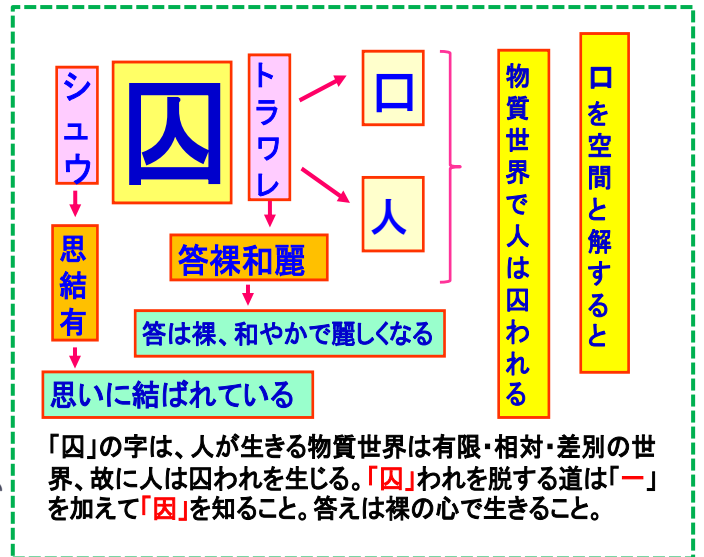
それは幼い頃に体験した記憶が大人になっても強く影響してしまう話でもあります。

サーカスの象は、逃げられないように、足に小さな足かせと鉄球を幼い頃からつけられると言います。始めは逃げ出そうとして何度も一生懸命引っ張るのですが、まだ幼く力がないため、ピクともしません。利口な象は、「動かすのは無理なんだ」と悟り、おもりを引っ張る努力を止めてしまいます。

もう逃げることを諦めたと分かった調教師は鎖よりも弱いロープに替えます。「自分には逃げるだけの力は無い」と小象に思い込ませれば、物理的な強度は関係が無くなるのです。

そして、その後こんなことが起こります。それは象が大人になっても、軽々おもりを動かせる力を手に入れても、決しておもりを引っ張ろうとしないことです。

幼いころに何度も挑戦し、そのたびに心を折られた象。本当はもうおもりに縛られなくていいのに、「自分には動かせない」と思い込んでしまい一生、そこから逃げ出すことができないのです。



「囚」の字は、人が生きる物質世界は有限・相対・差別の世界、故に人は囚われを生じる。「囚」われを脱する道は「一」を加えて「囚」を知ること。答えは裸の心で生きること。

人は負の言葉によって縛られてきました

この自縄自縛の「サーカスの象」の話のように、私達は幼い頃に体験した記憶が大人になっても強く影響して自己否定してしまい、いろんな面で鎖に繋がれていることが多々あるのではないのでしょうか？

私たちは、親から、先生から、上司から、そして「常識」から、そんな足かせと鉄球を課されてはいないのでしょうか。その思い込みを外すのは簡単ではありません。それは潜在意識に深く刻み込まれているからです。

「思った通りにしかならない」、「意識は実現する」、などと一般的に言われていますが、私たちの思い込みや意識が現実を引き寄せているのです。

人間の場合いろいろな体験もあるでしょうが、その殆どが周囲の人達の言葉やマスメディアによるネガティブな言葉のマインドコントロールを受けて、自分自身が自己否定的な言葉を綴って生み出している思い込み意識に陥っていることが多いのです。

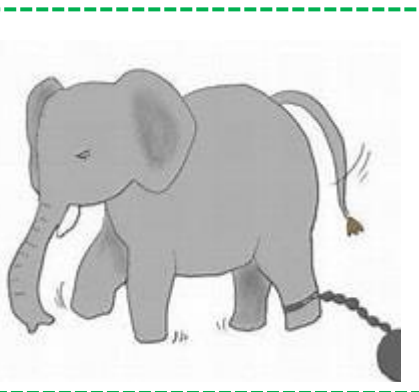
言葉によって私達の意識は生み出されています

多くの方は「言葉は道具の一つ」のように軽く受け止めていますが、言葉は両刃の刃(いば)。私たちの意識や思考や運命を左右する大きな力とパワーがあることに気付く必要があるのです。

明るい喜びの言葉、感謝の言葉、真心の言葉、正直な言葉、愛の言葉などの善い言葉を使うことによって幸福と発展の道が拓かれてゆきます。

逆に暗い悲しい言葉、不満の言葉、不誠実な言葉、嘘の言葉、怒りの言葉などの悪い言葉を使えば不幸と破滅の道へと進むことになってゆくのです。

言葉が意識を生み出しているのです、言葉が思考を左右している、その想念が現実を引き寄せる。そして運命を左右するようになるのです・・・、これは宇宙の法則なのです。



「コロナ」大いなる宇宙の意図 宿谷直晃著 ヒカルランドから全国有名書店で好評発売中
お近くの書店に無い時は書名・著書名でお取り寄せください。ネットでの購入も出来ます。

言葉の岩戸(言答)を開くことによって幸せの道が

ですから光に向かう良い言葉を使うか、闇に向かう悪しき言葉を使うかによって、私たちの幸不幸が左右されるようになるのです。この言葉の力を古来、我が国では「言霊」と表現してきたのです。

そして靈性に和す意味を秘めた「令和」の時代を迎えている今日、新しい時代の言霊の力が台頭しつつあるのです。それが小誌で紹介している「光透波」なのです。

即ち「言葉」→「言波」→「コトハ」→「光透波」へと展開し、「光」の「透」明な「波」動と書く究極のコトバのエネルギーがそこには脈打っているのです。ここに人々がサーカスの鎖に繋がれた象の如き桎梏(手かせ足かせ)から解放される道があるのです。

人々の意識を縛り続けて来た負の言葉の岩戸(言戸)が開かれようとしているのです。大きな喜びと光へ向かっての生き方を掴める靈性に和す言葉の岩戸を開く光透波をご一緒に学んでみませんか？ 文責 宿谷

命波の會 図

連載 — 11

【前号から続く】すべては、私たちは天のご意図のご誘導によって、命を学び、魂の進化と浄化を計る為に生かされているとしか考えられないと思っています。冷静に鑑みますと小田野先生と名古屋での出会いと別れの経過もそのように思えるのです。

小田野先生のもって生まれた卓越された資質

振り返って思いますのは小田野先生が名古屋の地にお越しくくださったのには、ご縁があったからと気づきました。それは小田野先生の「お母上様のご実家が名古屋」であったのです。

先生が2歳になったばかりの名古屋での記憶です。明治43年3月春に名古屋の鶴舞公園で「共進会」現在の博覧会が開催されたのです。驚くことに幼い先生はその夜景のネオンの点滅がとてもきれいで「キョウシンカイ、きょうしんかい」と片言で言っていて、見ている場面、あたりの人や物をつぶさに目に焼き付けて記憶されていることを、私たち兄妹に話されていました。

「今でも共進会のことを想うとありありときれいだったネオンを意識の中で再現できる」と仰っていました。

先生が少し大きくなってから、その事をお母様にお尋ねしたら「まあ、この子はとびっくりされた」そうです。そして、お母様から名古屋の鶴舞公園でその状況をお聴きされ、その内容が記憶されていたことからお母様は二度びっくりされたそうです。

正に先生の記憶力は尋常じゃ無いですね。まだ2歳になったばかりの頃の記憶とは思えません。これは小田野先生の卓越した能力の一つの事例であります。その記憶力で明らかなように先生は感覚感情をしっかりと幼い頃から発露されておられたということです。このことは命波エネルギー理論を出された抜群の天性の資質能力を与えられていたことを示唆されているのではないのでしょうか。

すべては縁起、天の誘導で生かされています

私は特に最近ですが、「縁起」ということをとても感じています。因縁とか縁起(因縁の正起)とか云われる仏教用語でもあります。所謂、すべては因があるから縁が生じていると・・・。

私たちは自分で思い考えて行動しているものと思っていたのですが、押し並べて個々に必要な場の縁を与えられて経験させられているのではないかと・・・と。そして、良い事、悪い事と思う判断基準も、相対次元であり、人の成長度合いから判断しているのではないかと。ゆえに常識は変化するものと考えております。

新装版「言霊・光透波の世界」 宿谷・磯部共著 ヒカルランド 全国有名書店で好評発売中
お近くの書店に無い時は書名・著書名でお取り寄せください。ネットでの購入も出来ます。
定 価 2000円 + 消費税 光透波の会・宿谷までお申し込みの方は消費税カット

それもまた、すべての源である天に由って「天網恢恢疎にして漏らさず」の老子の説の通りに、天意のお計らいのまま操られ、漏らさず平等に天の愛を誰しも受けて誘導されていると思えます。そして、個々の輪廻の因縁で様々な縁を与えられて、時には厳しい逆境こそ、成長のチャンスと受け止め乍ら、魂の浄化であると気づき、客観視しながら魂を進化させていると自覚してゆくと考えられます。

そして、個の霊性や資質に由って本来生へ開花されてゆく。それが、すべての因縁によって生かされて苦から楽へ、そして楽しみ喜びを噛み締めて味わいながら切磋琢磨して幸せの道を歩むことが設定されていると思えます。お一人お一人の尊い魂の務めを果たすことが出来る自己設定・自己完成の道を自動的に促されていると思っています。

小田野先生は命波学の普及に尽力され、天寿を全う

1988年(昭和63年)11月11日(金)に小田野早秧先生は東京田園調布にお帰りになられた後、13年間東京を中心に全国各地から命波学を学びに来られ方々の育成に心血を注がれました。

そして、2001年(平成13年)11月24日(土)に逝去されました。名古屋メンバーそして東京方面や関西や福岡有志メンバー全員が、小田野先生とお別れして今日までの36年間、様々な紆余曲折を重ねながら、今生の本番である魂の錬磨の道が始めるようになってゆきました。

小田野先生から命波の実態である究極の抽象現象の詞(光透波)の真実の世界を学びました。そして、命波である本質を踏まえて、具象現象である地上世界の語(言葉)によって生み出される自我意識と肉体を錬成して、魂を磨く為にそれぞれの因縁の地での学びが始まりました。命波学(光透波理論)を人々に伝える書籍が次々と世に出されていったのです。

光透波・命波学を伝える書籍が次々と刊行される

2002年11月24日に一番手に米国在住の永井迪子氏と、菊池静流氏により「天鏡—コトバという光(小田野早秧の生涯)」を共著出版されました。永井迪子氏は小田野先生のあまりにも自然体に魅入られて命波に深遠(しんすい)されました。又、小田野先生の晩年には身の回りのお世話を献身的にされて最期に立ち合われました。きっとお二人はお幸せだったと思います。

2009年2月には福岡の八田光典氏が「光透波命波読本(言葉に隠されている真実)」の本を出版されました。

小田野先生と堀尾泉實講師が命波基礎講座を展開していた当時、東京方面、名古屋、大阪、福岡へと兄の運転で毎回行脚して命波講座を行なっていました。中でも福岡の八田光典氏宅では家族ぐるみで学ばれていて、とても温かいご家族で良くしてくださったと、二人からお聞きしています。その行跡もあって八田光典氏と東京都の菊池静流氏は共著出版され多くの方々を育成励んでおられます。

3年後の2012年2月には名古屋市在住の磯部賢一氏と東京都在住の宿谷直晃氏が共著で「光透波命の探求新しい時代の言霊学入門」を出版されました。

磯部賢一氏は東京へ月1回の講座を開られて10年余り通う中、最初から熱心に学ばれていた宿谷直晃氏は、言葉を糺すことが世の浄化の道であると信じ、その道を求めておられ、光透波とご縁を結ばれました。

又、宿谷直晃氏はその後、光透波関連の書籍を次々と出版されました。「言霊(光透波)の世界」と「光透波理論の全貌」と「光の言波で原点回帰」と「コロナ大いなる宇宙の意図」の4書籍を出版されています。

現在、光の言波・真理教室の講師をされて、「光透波たより」を毎月発行されています。

これを期にどうぞ光透波の書籍をお読み学ばれますことをお勧めします。

つづく

堀尾君子

「命波学教本」堀尾泉實著 命波学＝光透波理論習得の必読のテキストです。定価2500円

ご希望の方は、**実光透波研究会** 名古屋市名東区香南1-103-8-201 堀尾君子

メールアドレス s8910kimiko@yahoo.co.jp 090-8499-5989まで

6 月 光透波セミナーのご案内

●光の言波・真理教室 (第144回 光透波セミナー)

- 日 時 6月18日(日) PM 1:30~PM4:45
●場 所 神明いきいきプラザ 集会室 A (4F) 東京都港区浜松町1-6-7
●演 題 「光の言波 自分とは何か？」 JR浜松町(北口)地下鉄大門(B1)4分
●講 師 宿谷直晃 ●参加費 3,000円

●Z o o m入門講座

- 6月20日(火) PM 8:00~PM10:00 「⑩秘宝の伝授」
● 講 師 宿谷直晃 ●参加費 3000円

●名古屋 命波学講座

- 日 時 6月5日(月) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第1回
●日 時 6月19日(月) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第2回
●日 時 6月20日(火) PM 3:30~PM6:30 和やか会
●日 時 6月22日(木) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第1回
●日 時 6月28日(水) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第6回
●場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201
●講 師 堀尾君子 ●参加費 各3,000円

※ 命波学受講の日時調整可。お申し込み、問い合わせは堀尾へ 090-8499-5989

●名古屋 光透波塾

- 日 時 6月15日(木) AM 10:00~PM 0:00
●演 題 基礎講座第1回 「光透波とは 私の探究」 ●場 所 磯部宅(名古屋市熱田区旗屋2-16-4)
●日 時 6月12日(月) AM 10:00~PM 1:00 (熱田神宮参拝と光透波講座の集い)
●演 題 「神の音からの神の探究と字割」 ●場 所 熱田神宮(神宮会館前)
●講 師 磯部賢一 ●参加費 各3,000円

●岐阜県 中津川教室 光透波塾

- 日 時 6月24日(土) AM 10:00~PM 0:00
●演 題 「小田野先生と天鏡図」 ●場 所 磯部宅(名古屋市熱田区旗屋2-16-4)
●講 師 磯部賢一 ●参加費 各3,000円

●Z o o m での字割会

- 6月7日(水) PM 9:00~PM11:00 テーマ「曼荼羅」
●講 師 磯部賢一 ●参加費 ドネーション

※ 以上のお申し込み、お問い合わせは磯部へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

●第22回 明石日本語セミナー

- 日 時 6月25日(日) AM10:00~PM 0:00
●場 所 明石市立 勤労福祉会館
●演 題 「ブラボー 日本語、五十音」 ●参加費 1900円
●講 師 林和也 ※ 講座の申し込み先 090-8580-3776 (林まで)

光
透
波
の
会

- ・ 實光透波研究会 名古屋市名東区香南1-103-8-201 堀尾君子 090-8499-5989
・ 光透波塾 名古屋市熱田区旗屋2-16-4 磯部賢一 090-9199-0248
・ 光の言波真理教室 東京都品川区小山6-19-5 宿谷直晃 090-2447-2037
・ 光透波言霊セミナー 兵庫県播磨町西野添2-5-12 林和也 090-8580-3776

光透波のホームページ

<http://kotohawanokai.web.fc2.com>